

2016 年度第 2 四半期決算説明会における主な質疑応答の要旨

<日 時>2016 年 11 月 1 日 17:30~19:00

- Q. 国内のしょうゆ事業が好調であるが、来期以降も継続するか。
- A. 上期は「いつでも新鮮」シリーズの伸びが寄与しており、また従来ペット商品の減少幅も小さかった。「いつでも新鮮」シリーズは、今後も成長の余地があると考えている。
- Q. 本つゆの構造改革について、どのように評価しているか。
- A. 本つゆは商品を刷新し、価格体系を見直した。これによって店頭売価は上がっており、流通の皆様からの評価は概ね好評だと考えている。
- Q. 本つゆ以外でも、そのような改革を進めていくカテゴリーはあるか。
- A. 人口減少や高齢化が進む中で、他のカテゴリーでも、価格訴求によって数量の伸びを目指すのではなく、しょうゆのように商品の高付加価値化を進めて価値を訴求していく。デルモンテでは、従来商品よりワンランク上の商品を、価格を守って売っている。このような形で、他のカテゴリーにも水平展開を進める。
- Q. 国内の体質改善のこれまでの進捗と、今後の取り組みは。
- A. 昨年度中に 5 億円の効果が出ており、今年度は 3 億円程度と予想している。3 年間での目標は 15 億円であり、物流改善や、流通の皆様との取り組みを進め、成果をあげていきたい。
- Q. 豆乳マーケットの成長ポテンシャルはどのように見ているか。
- A. 本年度 9 月に実施した調査では、ヘビーユーザーは着実に増えている。また、ミドルユーザーの 30%近くが今後の消費量は増えると答えており、逆に減ると答えている人はほとんどいないことから、今後も市場は拡大すると考えている。現在の豆乳市場は約 30 万 KL だが、将来は 50 万 KL くらいまでは拡大するだろうと期待している。
- Q. 従来に比べ、北米しょうゆ事業の伸び率が高く、欧州しょうゆ事業の伸び率が低い。何か構造的な変化があるのか。
- A. 北米は、私どもの施策がうまく行っている。例えば、若い世代を狙った SNS を活用したマーケティングが順調だ。またアメリカの経済が比較的順調であることも後押ししている。
- ・ 欧州は、ロシアではルーブル安が継続しており、回復には至っていない。ただ、主要な市場では順調に成長しており、特に心配はしていない。

- Q. 中期経営計画の営業利益目標は 360 億円だ。目標設定時（2015 年 4 月）に比べて円高が進んでいるが、引き続きこの目標を目指すのか。
- A. 現地通貨ベースでは計画通りに推移している。今後の為替の状況にもよるが、売上の成長や体質改善効果による利益の増加に加え、原材料安もあり、今の為替下で目標利益を達成したいと考えている。

以 上